

公 共

# 設 計 図 書

(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

2025 年度施行

網走市特定環境保全公共下水道  
呼人第 1 幹線管渠布設工事（繰越）

---

網走市



特 記 仕 様 書

## 特記仕様書

- 20 一般事項
- 01 適用
- 01 共通仕様書

当該工事は、『北海道建設部土木工事共通仕様書』（以下「土木工事共通仕様書」という。）に基づき施工すること。

- 02 土木工事積算基準等

- 1 当該工事の設計図書は、北海道建設部が制定した次の積算基準等に基づき作成している。
  - (1) 一般土木工事  
「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」
  - (2) 漁港工事  
「漁港関係工事積算基準」、「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
  - (3) 下水道工事  
「土木工事積算要領（下水道編）」、「土木工事積算基準」、「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
- 2 「土木工事積算基準」及び「漁港関係工事積算基準」において定めている諸基準に基づき次のとおり扱っている。
  - (1) 機械施工と人力施工等の施工方法や区分は設計図面等から判断し、機械施工が困難である場合を除き、機械施工を標準として積算している。
  - (2) 特記仕様書等で別途明示している場合を除き、各基準において定めている標準工法・標準機種で積算している。
  - (3) 上記（１）（２）については、受注者の任意施工を拘束するものではない。  
ただし、現場条件等がこれにより難しい場合には、必要に応じて設計変更する。
- 3 「土木工事工種体系化の手引き」、「漁港関係工事工種体系化の手引き」及び「下水道工事工種体系化の手引き」において定めている事項を、設計図書の規格・摘要欄に明示しているが現場条件等に差異が生じた場合には、設計変更の対象とする。
- 4 当該工事の数量算出書は、北海道建設部が制定した次の土木工事数量算出要領等に基づき作成している。
  - (1) 一般土木工事  
「土木工事数量算出要領」
  - (2) 漁港工事  
「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
  - (3) 下水道工事  
「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」

## 特記仕様書

### 03 概数

- 1 「概数として扱う数量一覧表」に示した数量は概数である。概数として扱う事項の施工に当たっては、施工後でなければ数量の確認ができない場合を除き、現地調査終了後速やかに工事監督員と協議し、数量の確定を行い着手すること。
- 2 概数の確定により数量の変更が生じた場合には、設計変更により処理する。  
なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。
- 3 「概数として扱う数量一覧表」で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として扱う場合がある。
- 4 当該工事において、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることがある。

### 05 参考図

参考図と朱書きして示した図面は、発注者が想定した工法・材料等を記したものであり、これに示されている事項を指定するものではない。

### 06 現場環境改善(選択)土木一般

- 1 現場環境改善は、周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施することを目的とする。
- 2 現場環境改善の実施内容は、各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）のうち合計5項目を基本として次の項目から選択すること。  
なお、具体的な実施内容や実施時期については、施工計画書を提出する時に工事監督員と協議すること。
  - (1) 仮設備関係
    - (1) 用水・電力等の供給設備の充実
    - (2) 緑化・花壇
    - (3) ライトアップ施設
    - (4) 見学路及び椅子の設置
    - (5) 昇降設備の充実
    - (6) 環境負荷の低減
  - (2) 営繕関係
    - (1) 現場事務所・監督詰所の快適化

## 特記仕様書

- (2) 労働者宿舍の快適化
- (3) デザインボックス（交通誘導警備員待機室）の快適化
- (4) 現場休憩所の快適化
- (5) 健康関連設備及び厚生施設の充実等
- (3) 安全関係
  - (1) 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）
  - (2) 盗難防止対策（警報機等）
  - (3) 避暑・防寒対策
- (4) 地域連携
  - (1) 完成予想図
  - (2) 工法説明図
  - (3) 工事工程表
  - (4) デザイン工事看板（各工事PR看板含む）
  - (5) 見学会等の開催（イベント等の実施含む）
  - (6) 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営
  - (7) パンフレット・工法説明ビデオ
  - (8) 地域対策費等（地域行事等の経費を含む）
  - (9) 社会貢献

3 工事完了時には、現場環境改善の実施状況が確認できる写真を提出すること。

15 CALS/EC（率に含まれる場合）

### 1 電子納品

- (1) 当該工事は電子納品対象とする。電子納品にあたっては、網走市電子納品の手引き（案）【工事編】（以下、「手引き【工事編】」という）に基づき、工事監督員と協議の上、電子化の範囲を決定しなければならない。これにより難しい場合には、協議の上、従来の納品とする。
- (2) 工事完成図書は、手引き【工事編】に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R又はDVD-R）で1部と製本1冊を提出する。  
なお、手引き【工事編】の解釈に疑義がある場合は、担当員と協議の上、電子化の是非を決定するものとする。
- (3) 工事完成図書の提出にあたっては、電子成果品事前チェックシート等による確認や目視による確認を行い、ウイルス対策を実施した上で提出するものとする。

21 工程関係

## 特記仕様書

- 15 月単位の週休2日工事  
01 月単位の週休2日工事【現場閉所】の実施について【土木工事】【空港工事】

1. 本工事は、月単位の「週休2日工事」の対象工事である。
2. 受注者が月単位の週休2日の施工を行う希望がある場合、工事着手前に発注者に対して月単位の週休2日に取り組む旨の協議を行い、協議が整った場合に月単位の週休2日での施工を行う工事である。なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても通期の週休2日による施工に努めること。
3. 月単位の週休2日とは、対象期間の全ての月において、土日・祝日に関わらず、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状況をいう。  
対象期間は、契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間及び夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは対象期間に含まない。工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
4. 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
5. 月単位の4週8休とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」）が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4週8休（28.5%）以上を達成しているものとみなす。  
通期の4週8休とは、対象期間内の現場閉所率が、28.5%（8日／28日）の水準の状態をいう。
6. 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
7. 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
  - 1) 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
  - 2) 受注者は、実施結果を発注者へ報告する。
8. 週休2日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
9. 現場の閉所状況に応じて、以下の補正係数を、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費率、現場管理費率に乘じる。市場単価方式についても、現場の閉所状況に応じて補正係数を乗じるものとする。ただし、土木工事標準積算基準書（共通編）第Ⅵ編第Ⅱ章市場単価に掲載されている工種のみ補正対象とする。  
なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については、補正の対象としない。
  - 1) 現場の閉所状況  
上記5に示した現場の閉所状況を達成した場合。

## 特記仕様書

### 2) 補正方法

当初予定価格から月単位における4週8休以上を達成した場合の補正係数を各経費に乗じている。なお、現場閉所の達成状況を確認後、月単位の4週8休に満たないものは、通期の週休2日の補正係数に変更するものとし、通期の4週8休に満たないものについては、補正係数を乗じない。

#### 【補正係数】

##### 4週8休以上（月単位）

- ・労務費 1.04
- ・機械経費（賃料） 1.02
- ・共通仮設費率 1.03
- ・現場管理費率 1.05

##### 4週8休以上（通期）

- ・労務費 1.02
- ・機械経費（賃料） 1.02
- ・共通仮設費率 1.02
- ・現場管理費率 1.03

市場単価方式の週休2日補正係数は、下記ホームページによる

URL:<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksk/shukyufutsuka.html>

10. 「週休2日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査に協力するものとする。

アンケートフォームURL:[https://www2.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksk/syuukyuufutuka\\_ssl/](https://www2.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksk/syuukyuufutuka_ssl/)

11. 週休2日の実施計画書提出後、当該工事の全体工期については、影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内の期限を設ける必要がある場合は、対象期間外と出来る場合があるので、受発注者間協議を行うこと。

27 建設副産物・廃棄物関係

01 発生土の工事間利用・仮置条件

01 発生土の搬出先

当該工事の発生土は、大曲湖畔園地（字三眺26地先 片道運搬距離5.0km以下）に搬出すること。

03 発生土の流用、搬出

掘削により発生する土砂は、一部工区内で流用するため仮置場に運搬すること。

03 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律

01 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律



## 特記仕様書

この工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号、以下「建設リサイクル法」という）」に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

### 05 副産物・廃棄物の処理条件

#### 01 舗装の切断作業時に発生する排水について

舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。

回収された排水については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については設計変更の対象とするため、必要な資料を提出の上、工事監督員と協議すること。

#### 02 特定建設資材廃棄物の処理条件

分別解体等によって発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、発生木材、アスファルト・コンクリート塊）は、次のとおり再資源化等を実施することとするが、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設廃棄物における適正処理計画について記載すること。

また、処分場所については積算上の条件明示であり、処分場所を指定するものではない。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出の上、工事監督員と協議すること。

##### 1 アスファルト塊

（１）処分場所：株式会社 早水組 呼人570-11（受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定）

（２）運搬距離：片道運搬距離6.5km以下

#### 03 建設副産物の処理条件

当該工事の施工により発生する建設副産物の処理については、次のとおりとするが、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設副産物における適正処理計画について記載すること。また、処分場所については積算上の条件明示であり、処分場所を指定するものではない。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出の上、工事監督員と協議すること。

##### 1 建設汚泥（舗装切断処理水）

（１）処分場所：株式会社 エースクリーン（受入可能な施設のうち、積算上一番安価な処理施設を想定）

##### 2 すき取り物

（１）処分場所：有限会社 富栄産業（受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定）

## 特 記 仕 様 書

(2) 運搬距離 : 片道運搬距離9.5km以下

- 30 その他
- 19 その他
- 01 設計図書に明示のない取扱い

設計図書に定めのない事象が生じた場合は、工事監督員と別途協議をすることとし、必要に応じて設計変更を行う。

## 概数として扱う数量一覧表

		工事名	網走市特定環境保全公共下水道 呼人第1幹線管渠布設工事（繰越）	当初		事業区分	下水道	
						工事区分	管路	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路				式		1		
付帯工				式		1		
舗装撤去工				式		1		
舗装版切断			アスファルト舗装版	m		844		概数
舗装版破碎			アスファルト舗装版	m2		713		概数
殻運搬			アスファルト殻	m3		24		概数
殻処分			アスファルト殻	m3		24		概数
処分費			切断水 汚泥 （株）エス・クリーン	t		1		概数
道路植栽工				式		1		
張芝			張芝工300m2未満	m2		200		概数
仮設工				式		1		
交通管理工				式		1		
交通誘導警備員			交通誘導員A	人日		52		概数

## 概数として扱う数量一覧表

		工事名	網走市特定環境保全公共下水道 呼人第 1 幹線管渠布設工事（線越）			当初	事業区分	下水道	
							工事区分	管路	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
交通誘導警備員			交通誘導員B	人日		104		概数	
共通仮設費				式		1			
共通仮設費				式		1			
準備費				式		1			
管路施設清掃工				式		1		概数	
立木・伐開物・伐根物運搬費				t		4.7		概数	
立木・伐開物・伐根物処分費				m3		10		概数	

## 工 事 数 量 総 括 表

工事名            網走市特定環境保全公共下水道  
                     呼人第 1 幹線管渠布設工事（繰越）

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	下水道		
						管路		
						摘要		
						現場条件	単位	数量
管路		式		1				
管きょ工(開削) < 管径200mm >		式		1				
管路土工		式		1				
(管路掘削)	全量	(m3)		( 530)		< 1 m3当たり > 掘削	m 3	1
(管路埋戻)	全量	(m3)		( 300)		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1
(発生土処理)	大曲湖畔園地 【ダンプトラック [ オンロード ・ディーゼル ]   4 t 積級 良 【タイヤ損耗費   4 t 積級 良 好 供用日 】	(m3)		( 230)		< 1 m3当たり > 土砂等運搬  処分費	m 3  m3	1  1
(埋戻土運搬)	発生土 現場 仮置場 【ダンプトラック [ オンロード ・ディーゼル ]   4 t 積級 良 【タイヤ損耗費   4 t 積級 良 好 供用日 】	(m3)		( 300)		< 1 m3当たり > 土砂等運搬	m 3	1
(埋戻土運搬)	発生土 仮置場 現場 【ダンプトラック [ オンロード ・ディーゼル ]   4 t 積級 良 【タイヤ損耗費   4 t 積級 良 好 供用日 】	(m3)		( 300)		< 1 m3当たり > 土砂等運搬  積込 ( ルーズ )	m 3  m 3	1  1
管布設工		式		1				

## 工事数量総括表

		工事名	網走市特定環境保全公共下水道 呼入第1幹線管渠布設工事（繰越）			( 当 初 )	事業区分	下水道			
							工事区分	管路			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
								現場条件		単位	数量
ホ°リフレ管			200 布設工	m		637		< 1 m当たり > 配管工  普通作業員		人	0.025
										人	0.049
ホ°リフレ管			100 布設工	m		2		< 1 m当たり > 配管工  普通作業員		人	0.012
										人	0.02
ホ°リフレ管			本管部 資材	式		1		< 1 式当たり > 下水道用ホ°リフレ管 片受け直管  下水道用ホ°リフレ管 22-1/2°EF受口 片受曲管  下水道用ホ°リフレ管 フランジ 短管  下水道用ホ°リフレ管 カラー  下水道用ホ°リフレ管 11-1/4°EF受口 片受曲管  ゴム製マンホール継手		本	127
										個	4
										個	3
										個	2
										個	1
										個	1
ホ°リフレ管			分岐接続部 資材	式		1		< 1 式当たり > 下水道用ホ°リフレ管 直管  下水道用ホ°リフレ管 90°EF受口 片受曲管  下水道用ホ°リフレ管 フランジ 短管  下水道用ホ°リフレ管 カラー		本	1
										個	1
										個	4
										個	3

## 工事数量総括表

		工事名	網走市特定環境保全公共下水道 呼入第 1 幹線管渠布設工事（繰越）			( 当 初 )	事業区分	下水道		
						工事区分	管路			
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
							現場条件	単位	数量	
ホ°リイリ管切断工		200	箇所		3		< 1 箇所当たり >			
							配管工	人	0.02	
							普通作業員	人	0.02	
							諸雑費	式	1	
ホ°リイリ管切断工		100	箇所		1		< 1 箇所当たり >			
							配管工	人	0.02	
							普通作業員	人	0.02	
							諸雑費	式	1	
ホ°リイリ管継手工		200 融着 1口	箇所		132		< 1 箇所当たり >			
							配管工	人	0.098	
							普通作業員	人	0.098	
							諸雑費	式	1	
ホ°リイリ管継手工		100 融着 1口	箇所		1		< 1 箇所当たり >			
							配管工	人	0.084	
							普通作業員	人	0.084	
							諸雑費	式	1	



## 工事数量総括表

		工事名	網走市特定環境保全公共下水道 呼入第1幹線管渠布設工事（繰越）			( 当 初 )	事業区分	下水道		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	管路		
								摘要		
								現場条件	単位	数量
ホリシリン管継手工			200 融着 2口	箇所		2		< 1 箇所当たり > 配管工  普通作業員  諸雑費	人  人  式	0.14  0.14  1
ホリシリン管継手工			100 融着 2口	箇所		3		< 1 箇所当たり > 配管工  普通作業員  諸雑費	人  人  式	0.12  0.12  1
鋳鉄管			200 布設工	m		0.4		< 1 m当たり > 配管工  普通作業員  トラック[クレーン装置付] へートラック4～4.5t級吊能力	人  人  時間	0.01  0.016  0.141
鋳鉄管			100 布設工	m		3		< 1 m当たり > 配管工  普通作業員  トラック[クレーン装置付] へートラック4～4.5t級吊能力	人  人  時間	0.007  0.013  0.121

## 工事数量総括表

		工事名	網走市特定環境保全公共下水道 呼入第1幹線管渠布設工事（繰越）			（ 当 初 ）	事業区分	下水道			
						工事区分	管路				
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
								現場条件		単位	数量
鋳鉄管			本管部 資材	式		1		< 1 式当たり > 三フランジT字管  フランジ用接合材		個	1
										組	3
鋳鉄管			分岐接続部 資材	式		1		< 1 式当たり > 三フランジT字管  短管1号  SUS管 短管 両フランジ  フランジ用接合材		個	1
										個	1
										個	1
										個	1
										組	8
フランジ 接合工			200 7.5K ボルト8本	箇所		3		< 1 箇所当たり > 配管工  普通作業員  諸雑費  フランジ用B・N・P		人	0.08
										人	0.08
										式	1
										組	1
フランジ 接合工			100 7.5K ボルト4本 GF	箇所		8		< 1 箇所当たり > 配管工  普通作業員  諸雑費  フランジ用B・N・P		人	0.06
										人	0.06
										式	1
										組	1

## 工事数量総括表

		工事名	網走市特定環境保全公共下水道 呼入第 1 幹線管渠布設工事（繰越）			( 当 初 )	事業区分	下水道			
						工事区分	管路				
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
								現場条件		単位	数量
弁類			資材	式		1		< 1 式当たり > 下水道用外ネジ式ソフトシール仕切弁		個	2
								仕切弁筐		個	2
								弁筐台座ブロック		個	2
								硬質塩化ビニル管（薄肉管）		m	0.7
								歩道用平板ブロック		枚	2
								埋設標識シート			m
			管明示シート工		m	1					
管基礎工				式		1					
砂基礎			200	m3		140		< 1 m3当たり > 砂基礎設置工(機械施工)（市場単価）		m3	1
								基礎砂		m 3	1.1
マンホール工				式		1					

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
既設マンホール		式		1				
飛散防止版設置	ハッフルプレート SUS304 t=1.0mm L=3.5m 【アンカーボルト   SUS M10×100mm】	式		1		< 1 式当たり > 鋼製加工品 コンクリートアンカーボルト設置	kg 本	19.38 16
付帯工		式		1				
舗装撤去工		式		1				
舗装版切断	アスファルト舗装版	m		844		< 1 m当たり > 舗装版切断	m	1
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m2		713		< 1 m2当たり > 舗装版破碎	m 2	1
殻運搬	アスファルト殻 【ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]   10 t 積級】 【タイヤ損耗費   10 t 積級 良好 供用日】	m3		24		< 1 m3当たり > 殻運搬	m 3	1
殻処分	アスファルト殻 【アスファルト塊 受入費   網走市】	m3		24		< 1 m3当たり > 処分費 ( t )	t	2.15
(処分費)	切断水 汚泥 (株) E-S・クリーン 【産業廃棄物処理 中間処理費   汚泥 建設汚泥 舗装切断水汚泥】	(t)		( 1 )		< 1 t当たり > 処分費 ( t )	t	1

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
舗装復旧工		式		1				
下層路盤(歩道部)	再生クラッシャー RC-40270mm 【再生コンクリート骨材 1ゾーン   0 ~ 40mm】	- m2		183		< 1 m2当たり > 下層路盤(歩道部)	m 2	1
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシャー RC-40250mm 【再生コンクリート骨材 1ゾーン   0 ~ 40mm】	- m2		6		< 1 m2当たり > 下層路盤(車道・路肩部)	m 2	1
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシャー RC-40150mm 【再生コンクリート骨材 1ゾーン   0 ~ 80mm】	- m2		6		< 1 m2当たり > 下層路盤(車道・路肩部)	m 2	1
上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材(40)50mm 【再生アスファルト安定処理   As量1.2~4.0%配合率50%(As安 定)】	m2		24		< 1 m2当たり > 上層路盤(車道・路肩部)	m 2	1
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20)50mm1.4m以 上3.0m以下 【再生粗粒度アスファルト混合 物   As量2.2~5.0%配合率50%( 粗粒)】	m2		24		< 1 m2当たり > 基層(車道・路肩部)	m 2	1
表層(車道・路肩部)	再生細粒度ギャップアスコン(20F)45m m1.4m以上3.0m以下 【再生細粒度ギャップアスファ ルト混合物   As量3.9~6.8%配 合率50%(細粒G)】	m2		24		< 1 m2当たり > 表層(車道・路肩部)	m 2	1
表層(歩道部)	再生細粒度アスファルト混合物(13)30 mm1.4m未満(1層当り平均仕上り 厚50mm以下) 【再生細粒度アスファルト混合 物   As量4.1~7.0%配合率50%( 細粒・歩道) 歩道用】	m2		670		< 1 m2当たり > 表層(歩道部)	m 2	1

## 工事数量総括表

		工事名	網走市特定環境保全公共下水道 呼入第1幹線管渠布設工事（繰越）			( 当 初 )	事業区分	下水道		
					工事区分	管路				
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
							現場条件	単位	数量	
表層(歩道部)		再生細粒度アスファルト混合物(13)30mm1.4m以上(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 【再生細粒度アスファルト混合物   As量4.1～7.0%配合率50%(細粒・歩道) 歩道用 】	m2		18		< 1 m2当たり > 表層（歩道部）	m 2	1	
道路植栽工			式		1					
張芝		張芝工300m2未満	m2		200		< 1 m2当たり > 人力施工による植生工	m2	1	
仮設工			式		1					
交通管理工			式		1					
(交通誘導警備員)		交通誘導員A	(人日)		( 52)		< 1 人日当たり > 交通誘導警備員 A	人日	1	
(交通誘導警備員)		交通誘導員B	(人日)		( 104)		< 1 人日当たり > 交通誘導警備員 B	人日	1	
直接工事費			式		1					
共通仮設費			式		1					
共通仮設費			式		1					

## 工事数量総括表

		工事名	網走市特定環境保全公共下水道 呼入第 1 幹線管渠布設工事（繰越）		( 当 初 )	事業区分	下水道		
						工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
						現場条件	単位	数量	
準備費		式		1					
管路施設清掃工		式		1		< 1 式当たり >			
						軽油	L	45.6	
						特殊作業員	人	1	
						運転手（一般）	人	1	
						揚泥車損料	時間	6	
(立木・伐開物・伐根物運搬費)		(t)		( 4.7)		< 1 t当たり >			
						立木、伐開物、抜根物等運搬	t	1	
(立木・伐開物・伐根物処分費)		(m3)		( 10)		< 1 m3当たり >			
						すき取り物受入費	空 m 3	1	
現場環境改善費（率計上）		式		1					
共通仮設費（率計上）		式		1					
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1					
工事原価		式		1					

## 工事数量総括表

[illegible]